

REPORT

昭和大学横浜市北部病院



短時間で最大限の効果に 繋げる院内研修

■ 概要

胎児の健康と発育を評価するための妊娠初期・中期の胎児精密超音波検査は当科の特徴です。今回、日本産科婦人科学会のガイドラインに沿って制作された映像教材 * と胎児超音波シミュレータ（23 週）を使用した研修を実施しました。働き方改革が進むなか、限られた時間で効率的なトレーニングを行うため、約 1 時間の研修を業務時間内に組み込みました。

■ 指導者の想い



市塚 清健

昭和大学横浜市北部病院
産婦人科 診療科長・教授

若手医師に対する胎児超音波教育は、これまで臨床現場の OJT が中心でした。OJT では多岐にわたる臨床経験が積める一方、妊婦さんへの身体的、精神的負担が避けられませんでした。そこで今回は手技の基本を丁寧に学ぶ機会をつくり、研修医・専攻医にそれぞれ計測、スクリーニングを学ぶ研修を実施することにしました。研修にあたり映像教材やシミュレータを導入した結果、自主トレーニングが可能になったことも好評です。



イズデプスキ 龍也

昭和大学横浜市北部病院
産婦人科 助教

映像はプローブ走査画面と超音波画像で構成され、初学者から経験の浅い医師にも理解しやすいという特徴があります。映像は一度に複数人を対象の指導が可能という利点があるため指導負担の軽減に役立っています。またシミュレータを用いる際に、映像の流れに沿った形で進めることで効率的な指導を行うことができました。

全国の医学生や研修医を対象とした産婦人科サマースクールの超音波プログラムでも使用しています。



集合研修 ※1

内容



事前学習

映像視聴

- ・研修医 “計測編”
- ・専攻医 “スクリーニング編”



集合研修 ※2

※1 映像を全員で視聴 + 適宜解説

※2 シミュレータで実施



自主トレーニング

映像とシミュレータで実践

研修医・専攻医の声

- ・事前に映像教材を視聴したので、指導医の解説が理解できました。シミュレータのトレーニングでは描出すべき画像のイメージをもって取り組むことができました。(研修医 2年目)
- ・映像とファントムを活用し、妊娠中期のスクリーニングについて理解を深めることができました。復習にも役立つ為、今後も活用していく予定です。(専攻医 1年目)

映像教材 *

監修：近畿産科婦人科学会 / 近畿産婦人科実習セミナー (POP-K) 実行委員会
制作：大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室



◀ 計測編 / スクリーニング編

- 👉 探触子 (位置・角度) 走査の把握
- 👉 いつでもどこでも学習 (予習 ▶ 復習)